

アカデミア メランコリア (第28回) (若手のコラム)

東京大学大気海洋研究所 西川 はつみ

今回コラムを担当させていただきます、東京大学大気海洋研究所の西川 はつみと申します。三重大学で学位を取得後、北海道大学低温科学研究所でのポストドクを経て、今年の4月から大気海洋研でお世話になっています。研究の興味は中緯度海域の大気海洋相互作用です。よろしくお願いいたします。

さて、コロナ禍が続く中、皆さまいかがお過ごしでしょうか？ こんな状況になり、改めて人との繋がりが大切だなあ、と感じる毎日です。“繋がり”をキーワードに、思い出話をさせていただきます。



私はもともと気象の研究室出身ですが、有難いことに陸上・海上含めいろいろな観測に参加させていただきました。観測は、人との強い繋がりができる場の一つだと思います。今回コラムにご指名いただいた日水研の久賀さんとの繋がりのきっかけも、2012年に新潟県柏崎市で行われた降雪時のラジオゾンデ観測でした。プレハブ小屋の中でストーブを焚いてゾンデデータを眺め、合間にかまくらを作ったのはとても楽しい思い出です。海上での観測では、観測作業はもちろんのこと、合間に研究の議論をしたり、たわいもない会話、トランプやオセロ大会、誕生日をお祝したり、打上げでベロベロになったり…とたくさんの出来事を通じて、強い繋がりが出来ました。

生活を共にした一体感というか同志というか、学会などで会ったときは嬉しくなります。また、いろんな分野の方が乗船されていることで、気象観測だけでなく物理・生物・化学の海洋観測を経験でき、海も面白い！と感じたことは、いま海洋の研究をしていることに繋がっています。

学会なども大事な繋がりの場です。発表を通じての繋がりはもちろんですが、懇親会や若手会・中手会・サッカーなどのイベントは特に繋がりが広がります。そんな、学会での印象に残っている出来事。私の学会デビューは学部4年生の時でした。学会に知り合いがほぼおらず、指導教員に連れられてある飲み会に参加しました。その飲み会にいたのは大気海洋相互作用研究のそうそうたる面々!!! (当時は恥ずかしながら、誰が誰やらわかっていなかった気がしますが…)。あの時はなんだかすごい飲み会に参加したよなあと、当時の記憶を振り返ってみると、とても楽しそうに研究について語り合う研究者の方々の姿が思い出されます。そのときの楽しそうな姿が、研究者の道に進んだきっかけの一つだったかもしれません。そしていま、そのときの方々と同じプロジェクトに携わっていることに、感慨深いものを感じています。

最後に、これまでであれば、学生さんはぜひ観測や学会などに積極的に参加して人との繋がりを作ってみてください！と締めるところですが、リアルに会うことが難しい現状なのが悲しいところです。これもなにかのご縁なのか、現在私は海洋若手武者修行セミナー (<https://sites.google.com/view/jos-wakate-musha/>) の代表を務めさせていただいています。リアルでの開催が難しい今、オンライン武者修行セミナーを企画しています。“繋がり”を作るお手伝いが少しでもできればと考えていますので、ぜひご活用いただければと思います。興味のある方はぜひお気軽にご連絡 (jos_wakate_seminar@googlegroups.com) くださいませ。

それでは皆さま、コロナ収束を願いつつ、うまく共存しながら、お互い元気に乗り越えましょう！